



花崎北小学校だより

学校教育目標「かしこく やさしく たくましく」

令和5年度
11月号
児童数253名

「時間」

校長 藤井 真仁

10月も後半に入り、過ごしやすい季節になりました。

これまで以上に充実した教育活動を推進していこうと意気込んでいた矢先、本校においてもインフルエンザが蔓延してしまい、10月25日現在、学校閉鎖中です。

子どもたちのいない校舎内は、時間の流れが止まったような空気感が漂っています。

しかし、オンライン授業中の教室を覗くと、タブレット端末の画面越しですが、意欲的に学ぶ子どもたちの姿を確認することができ、時間が一気に動き出しました。

さて、今年も残すところ2か月となりました。

毎年この時期になると、「今年もあっという間に過ぎてしまうなあ」と感じます。以前、その理由について調べたことがあったのですが、すっかり忘れてしまったのでまた調べてみました。インターネットで検索すると、一番上に「ジャンネーの法則」と表示されました。

「そうだった」と思いながら、続いて自分のスマホに入っている生成AIに「ジャンネーの法則とは？」と聞いてみました。生成AIの回答は右のとおりです。

簡潔に言うと、「生涯のある時期における時間の心理的長さは年齢に反比例する」ということでしょう。

回答の後半には「人生は驚くほど早く過ぎていくという現実…。毎日を大切に生きることが大事…」と、適切なアドバイスが書かれていました。そして、最後に「あなたはジャンネーの法則についてどう思いますか？」と問いかけてきました。

ジャンネーの法則は「もっともだ」と思いますが、異なった考えもできます。

私は、「能力の衰え」が理由の1つではないかと考えています。若い頃は、今よりも、例えば「速く走れた」「仕事を速くこなせた」「暗記できた」のですが、今は何をやるにも前よりも時間がかかります。だから、前よりも時間が早く過ぎると感じるのではないのでしょうか。

日々、圧倒的なスピードで物事を吸収し、成長していく子どもたちを見ていると、頼もしさはもとより、とても羨ましく感じます。現状維持の難しさが、私の目の前には立ちだかっています。

こんな書き方をすると、時間が早く過ぎるのはマイナスに思えてしまいますが、別の考えもあります。

「楽しい時間は、あっという間に過ぎる」と言われます。きっと、年々、時間が過ぎるのが早く感じるのは、毎年、前年以上に楽しい時間を過ごしているからだだと思います。

これからも、子どもたちとともに、時間の過ぎる早さを楽しんでいきます。

ジャンネーの法則とは、人が感じる時間の長さが、年齢に反比例するという法則です。¹つまり、年をとるほど時間が経つのが早く感じられるということです。²

この法則は、19世紀のフランスの哲学者ポール・ジャンネが発案し、甥の心理学者ピエール・ジャンネが紹介したものです。²数式で表すと、 Y (体感時間) = $1/n$ (年齢) となります。¹

例えば、50歳の人にとって1年は人生の50分の1ですが、5歳の人にとっては5分の1です。²だから、50歳の人にとって10年は5歳の人にとって1年に相当します。²

この法則からわかることは、人生は驚くほど早く過ぎていくという現実です。¹だからこそ、毎日を大切に生きることが大事だと思います。

あなたはジャンネーの法則についてどう思いますか？ 😊

生成AIの回答
(スマホ画面から)

